



# 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ホウスイ  
コード番号 1352 URL <http://www.hohsui.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長  
四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高橋 昌明  
(氏名) 小林 留一

TEL 03-3543-3536

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	21,934	5.1	197	6.9	240	4.5	115	17.7
24年3月期第2四半期	20,862	22.7	184	166.0	230	74.0	97	41.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 133百万円 (10.8%) 24年3月期第2四半期 120百万円 (52.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	1.37	—
24年3月期第2四半期	1.17	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	16,703	5,461	31.2	62.14
24年3月期	14,271	5,499	36.8	62.78

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 5,203百万円 24年3月期 5,257百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	2.00	2.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	5.4	490	17.5	540	6.8	250	25.2	2.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	83,790,000 株	24年3月期	83,790,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	43,842 株	24年3月期	42,402 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	83,747,027 株	24年3月期2Q	83,748,719 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている実績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
(7) 重要な後発事象	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等により緩やかに持ち直しているものの、景気の先行きについては、海外景気の減速の影響や長期化する円高等により輸出や生産が低迷しており、依然不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと水産・食品業界におきましても、景気の不透明感から、依然として消費者の節約志向が続く、厳しい経営環境が続いております。当社グループは引き続き顧客ニーズに迅速に対応するとともに、増強した設備の利用促進と連携したグループ機能の活用により安定した収益の確保に努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高219億34百万円（前年同期比10億72百万円増）、営業利益1億97百万円（前年同期比12百万円増）、経常利益2億40百万円（前年同期比10百万円増）、四半期純利益は1億15百万円（前年同期比17百万円増）となりました。

なお、セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 冷蔵倉庫事業セグメント

冷蔵倉庫事業セグメントは、景気低迷により荷動きが停滞し、前年に比べ入庫量・出庫量とも減少したことにより荷役料収入が減少しましたが、在庫量が高水準で推移したため保管料収入が増加し、営業利益も増加しました。その結果、売上高は21億30百万円（前年同期比1億12百万円増）となり、営業利益は1億35百万円（前年同期比52百万円増）となりました。

#### ② 水産物卸売事業セグメント

水産物卸売事業セグメントは、リテールサポート部門の新規顧客対応効果などにより前年に比べ売上高は増加しましたが、付加価値の高い魚種の取扱量の減少と販売経費の増加により営業利益は減少いたしました。その結果、売上高は198億4百万円（前年同期比9億59百万円増）となりましたが、営業利益は62百万円（前年同期比39百万円減）となりました。

セグメントの業績の詳細については、「4. 四半期連結財務諸表 (6) セグメント情報等」をご参照下さい。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### ア. 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前期末比24億32百万円増加し、167億3百万円となりました。

流動資産は、棚卸資産の増加等により前期末比6億6百万円増加の75億4百万円となりました。

固定資産については、冷蔵倉庫事業セグメントの設備投資等により、前期末比18億25百万円増加し、91億98百万円となりました。

##### イ. 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前期末比24億70百万円増加し、112億42百万円となりました。

流動負債は、短期借入金の増加等により、前期末比26億6百万円増加し、94億83百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の返済等により、前期末比1億35百万円減少し、17億58百万円となりました。

##### ウ. 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、第2四半期累計期間純利益が1億15百万円となったものの、株主配当金の支払1億67百万円等により、前期末比38百万円減少の54億61百万円となりました。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は11億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億39百万円増加いたしました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は5億91百万円（前年同期は85百万円の使用）となりました。これは主に棚卸資産の増加、仕入債務の減少等によるものです。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は20億38百万円（前年同期は2億2百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものです。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は27億69百万円（前年同期は1億13百万円の獲得）となりました。これは主に短期借入金の増加による収入があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想は、平成24年5月14日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

個別業績予想につきましては、平成24年10月30日付で発表の「業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」にて修正致しました。個別業績予想の修正の詳細につきましては当該「業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	219	402
受取手形及び売掛金	4,098	4,197
商品及び製品	1,170	1,586
原材料及び貯蔵品	3	7
関係会社預け金	1,270	1,177
繰延税金資産	47	47
その他	107	106
貸倒引当金	△20	△18
流動資産合計	6,898	7,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,407	11,444
減価償却累計額	△6,897	△7,071
建物及び構築物（純額）	4,510	4,372
機械装置及び運搬具	3,004	3,038
減価償却累計額	△2,188	△2,259
機械装置及び運搬具（純額）	816	779
工具、器具及び備品	234	267
減価償却累計額	△181	△184
工具、器具及び備品（純額）	53	83
リース資産	318	364
減価償却累計額	△126	△151
リース資産（純額）	191	212
土地	1,166	1,166
建設仮勘定	13	1,964
有形固定資産合計	6,751	8,577
無形固定資産	167	167
投資その他の資産		
投資有価証券	151	150
長期貸付金	6	6
繰延税金資産	162	161
その他	134	134
投資その他の資産合計	455	453
固定資産合計	7,373	9,198
資産合計	14,271	16,703

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,668	4,265
1年内返済予定の長期借入金	222	162
1年内返済予定の関係会社長期借入金	115	92
短期借入金	—	2,500
関係会社短期借入金	830	1,500
リース債務	61	71
未払法人税等	183	107
賞与引当金	72	86
役員賞与引当金	14	—
その他	709	697
流動負債合計	6,877	9,483
固定負債		
長期借入金	264	195
関係会社長期借入金	134	92
リース債務	129	140
退職給付引当金	863	856
役員退職慰労引当金	128	0
本社移転損失引当金	147	147
長期預り保証金	6	6
長期未払金	—	117
負ののれん	219	201
固定負債合計	1,893	1,758
負債合計	8,771	11,242
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,485	2,485
資本剰余金	1,222	1,222
利益剰余金	1,549	1,497
自己株式	△1	△1
株主資本合計	5,255	5,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	0
その他の包括利益累計額合計	1	0
少数株主持分	242	257
純資産合計	5,499	5,461
負債純資産合計	14,271	16,703

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	20,862	21,934
売上原価	19,154	20,004
売上総利益	1,708	1,930
販売費及び一般管理費	1,523	1,733
営業利益	184	197
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	1	1
負ののれん償却額	18	18
雑収入	38	40
営業外収益合計	59	61
営業外費用		
支払利息	14	18
雑支出	0	0
営業外費用合計	14	18
経常利益	230	240
特別損失		
固定資産除却損	0	5
特別損失合計	0	5
税金等調整前四半期純利益	229	235
法人税等	109	101
少数株主損益調整前四半期純利益	120	133
少数株主利益	22	18
四半期純利益	97	115



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	120	133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
その他の包括利益合計	△0	△0
四半期包括利益	120	133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97	114
少数株主に係る四半期包括利益	22	18

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	229	235
減価償却費	322	312
有形固定資産除却損	0	5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△1
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6	△6
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	16	△128
賞与引当金の増減額(△は減少)	13	14
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△8	△14
受取利息及び受取配当金	△2	△2
支払利息	14	18
負ののれん償却額	△18	△18
売上債権の増減額(△は増加)	△132	△98
たな卸資産の増減額(△は増加)	△253	△419
仕入債務の増減額(△は減少)	△203	△402
未払消費税等の増減額(△は減少)	△45	△47
その他	31	148
小計	△29	△404
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△10	△11
法人税等の支払額	△47	△177
営業活動によるキャッシュ・フロー	△85	△591
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社預け金の増減額(△は増加)	150	50
有形固定資産の取得による支出	△350	△2,081
無形固定資産の取得による支出	△5	△7
短期貸付けによる支出	—	△0
短期貸付金の回収による収入	0	—
長期貸付金の回収による収入	0	0
差入保証金の差入による支出	△4	△0
差入保証金の回収による収入	2	—
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
預り保証金の返還による支出	△1	△0
預り保証金の受入による収入	6	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△202	△2,038

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,250	3,800
短期借入金の返済による支出	△710	△630
長期借入金の返済による支出	△231	△194
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△167	△167
少数株主への配当金の支払額	△4	△4
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△23	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	113	2,769
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△174	139
現金及び現金同等物の期首残高	816	979
現金及び現金同等物の四半期末残高	642	1,119

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	冷蔵倉庫事業	水産物卸売事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,017	18,845	20,862	—	20,862
セグメント間の内部売上高又は振替高	43	9	52	△52	—
計	2,060	18,854	20,915	△52	20,862
セグメント利益	83	101	184	—	184

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	冷蔵倉庫事業	水産物卸売事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,130	19,804	21,934	—	21,934
セグメント間の内部売上高又は振替高	47	8	55	△55	—
計	2,177	19,813	21,990	△55	21,934
セグメント利益	135	62	197	—	197

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

(7) 重要な後発事象

平成24年10月18日付発表の「固定資産の取得に関するお知らせ」に記載したとおり、当社は、平成24年10月18日開催の取締役会において、下記のとおり固定資産の取得(冷蔵倉庫の建設)を決定いたしました。

① 取得(建設)の理由

当社主要取引先との連携を強化するとともに、冷蔵倉庫事業の拡大を図るため、新たに物流センター(冷蔵倉庫)を建設するものであります。

② 取得資産(建物)の概要

ア. 名称：市川物流センター

a. 主要用途：冷蔵倉庫(収容トン数：21,725トン)

- b. 所在地 : 千葉県市川市高谷1916番2他
  - c. 建築面積 : 4,482.53㎡
  - d. 延床面積 : 16,433.83㎡
  - e. 構造 : プレストレストコンクリート造 (一部鉄骨造)地上7階建
- イ. 取得予定価額 : 約30億円
- ウ. 取得資金 : 金融機関からの借入によります。

③ 建設計画

着工予定 : 平成24年11月

竣工予定 : 平成25年10月

④ 今後の見通し

当該固定資産の取得による平成25年3月期の業績に与える影響は軽微であります。

また当社の船橋冷蔵庫に近接していることから、今後当社にとって利用価値が高いと想定しております。